

アカマツ

平成29年度第8号 11月



思い出に残る本との出会い

北鎮小学校長 石黒雄治

日没が早まり、本格的な冬がやってきたことを感じる毎日になってきました。このような夜長は読書をするのに適した時期かもしれません。読書と言えば、子ども時代の私はあまり本を読まない子でした。それでも、子どもの頃の一冊の本との出会いは、しっかり記憶に残っています。その本は「十五少年漂流記」(ジュール・ヴェルヌ作)という本です。わくわくして一気に読んだ本の一冊です。本の内容は、以下のとおりです。

港に停泊していた船に乗り込んでしまった15人の少年、いつしか港から嵐で荒れ狂う外海へと漂流してしまいます。そこには15人の少年だけが乗船していたのでした。荒れた海の恐ろしさ、島に何とか流れ着いた時の安堵感、恐る恐る無人島を探検する姿、国籍や年齢も違う少年15人の無人島での生活が始まります。様々な苦難を乗り越えていく姿が生き生きと描かれていました。そして、無事に助けられた時の喜びなど、本の世界に引き込まれるように夢中で読んだことを今でも鮮明に覚えています。読んでいながら登場人物に共感したり、その逆でなんてだめな人物なんだといった様々な思いを引き起こさせてくれました。また、性格や考え方の違う人とも力を合わせていく必要性や、勇気や希望をもつことの大切さを読み手に気づかせてくれる本だったように思います。



さて、子どもたちが本を手にする機会は、教室、学校図書館、街の図書館や本屋さん、さらにはご家庭といったところでしょうか。今の時代の読書環境は、私が子どもの頃よりはるかに充実してきました。しかし、様々なメディア機器や情報があふれる慌ただしい社会になり、じっくりと本を手にする機会が失われてきているように感じます。

学校では、子供たちが本に触れる機会を増やそうと取り組んでいます。例えば、学校司書教諭による図書環境の充実と整備です。また、読書ビンゴ、読書通帳の配布、さらには学級文庫の設置等です。とりわけストーン・スーパ(ボランティア)による読み聞かせ活動については、お話の世界の面白さや読書への誘いという点で、とても意義の大きな素晴らしい活動になっています。活動に汗を流していただいておりますストーン・スーパの皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。

一冊の本が人生を変えることすらあるという人もいます。そう考えると、本は手に乗る小さな宝箱とも言えます。心の柔らかな子供時代に、一冊でも多くの本に出会ってほしいと願っています。

あいさつ

「あいさつ運動」が、先日は児童会本部により、今週は生活委員会によって行われています。東西の玄関には、「おはようございます!」と、いつもより元気な声が響いています。日中に廊下ですれ違ったときなど、笑顔で会釈をする子の多い北鎮小はすてきな、と思います。



テレビCMで、「就職するまで挨拶に意味なんて無いと思ってた」という言葉で始まるものがあります。初めて見たとき、「この人は挨拶には意味が無いから、挨拶はしなかった」という意味なのかと思い、ビックリしました。けれど、「この人は、『おはよう』などの挨拶はしていたけれど、ただ、形式的、儀礼的に言葉を口にしていただけだった」という意味なのかな、とも思いました。



「あいさつ運動」をしている子に、挨拶の意味を聞いてみたら、その子らしい言葉を使って笑顔で答えてくれました。その子の体験、ご家庭での教養を、言葉の中に感じました。これから、とても多くの人々に出会う子どもたちが、その出会いをすてきな挨拶で始められるように願い、私たちの経験も伝えていきたいと思っています。

自分の命と安全は自分で守ること⑤

雪が降り、グラウンドには膝丈ほどの雪が積もり、除雪による小山もできました。休み時間の子供たちは、プレイルームや体育館、教室、学校図書館、雪の中など、思い思いの場所で元気に遊んでいます。子どもたちが、夢中になって元気に遊んでいる姿を見ると、とても、うれしく、幸せな気持ちになります。

お子さんは、休み時間をどこで、誰と過ごすことが多いようですか?

雪が積もり始めると子どもたちに、繰り返し話していることは、

- ①あたたかい服装(手袋、帽子を忘れずに)
 - ②軒下を通るときには、屋根の雪や氷を確認
 - ③車が止まったことを確認してから、車道に降りる
 - ④軒下や除雪でできた山ではない、安全な場所で遊ぶ など
- です。これらを子どもたちに話すと、「わかってる」と言いますし、遊んでいないときには、ちゃんとわかっています。でも、夢中になったり、何かに心を奪われたりした一瞬に、忘れてしまうことがあります。「気をつけて」ではなく、その日、そのときに気になったことを、具体的な行動で確認していきましょう。

北鎮小の皆さんの活躍の記録

5年1組 田澤 聡志さん 第5回吉田沙保里杯津市少年少女選手権(三重県津市・サオリーナ) 小学男子5~6年生 50kg級 第3位

2年2組 田川 凜乃さん 武田 梨花さん 第25回スポーツハウス杯小学生バドミントン大会 2年生以下女子ダブルス 準優勝

12月行事予定

【12月の生活目標】
「思いやりの心をもとう」

1	金	交通安全指導日(中) 参観日(高)
2	土	
3	日	
4	月	児童会
5	火	
6	水	PTA役員選考委員会
7	木	ストーンスーパ放送朗読
8	金	職員会議(昼清掃)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	期末事務処理日(4時間給食あり) 学期末サポート学習(3年, 5年)
13	水	期末事務処理日(4時間給食あり) 学期末サポート学習(4年, 6年)
14	木	
15	金	諸費引落日
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	第2学期終業式(5時間授業・昼清掃)
23	土	天皇誕生日 冬季休業 1月16日まで(25日間)
24	日	
25	月	冬休みステップアップ学習
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

ストーンスープお楽しみ会 11月22日(水) 高学年「とうふこそう」「そこの使者」、24日(金)低学年「へんしんトンネル」「あらまっ！」



11月22日(水) やまびこ学級・たんぼぼ学級 校外学習 [科学館サイパル]



11月16日(木) 4年生社会出前授業 [クリーンセンター, 「ごみ」の学習]

